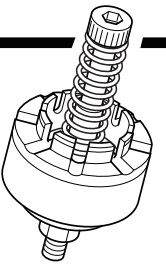


この説明書はブリートの標準的な取付方法をご案内するものです。取付方法はヤマハSRX400/600を例にとって説明をおこなっております。その他の車種については、特にフォークスプリングの外し方など取付をおこなう車種の手順をマニュアル等で事前にご確認ください。



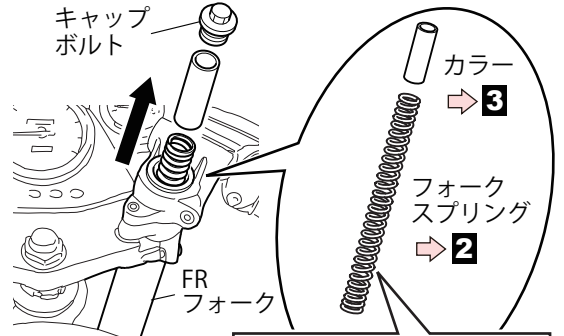
ブリートはダンパーロッド式FRフォークに組付ける機能強化パーツです。装着によってカートリッジ式のFRフォークのように、伸び側にも減衰機能(※1)が付加され、縮み側の減衰力は任意に調整が可能になります。ブリートは本来のサスペンションの機能を補助強化し、パフォーマンスを向上させるパーツです。

取付の手順

ブリートの取付には、FRフォーク内のカラーの加工が必要となります。ご自身で加工が難しい場合は、当社でブリートに対応したカラーの用意が可能です。その際は、事前に取付車両の標準状態のカラーの外径/長さを当社までお知らせください。

1 取付準備 / フォークスプリングの取出し

キャップボルトを緩め、FRフォークからカラーとフォークスプリングを外します。

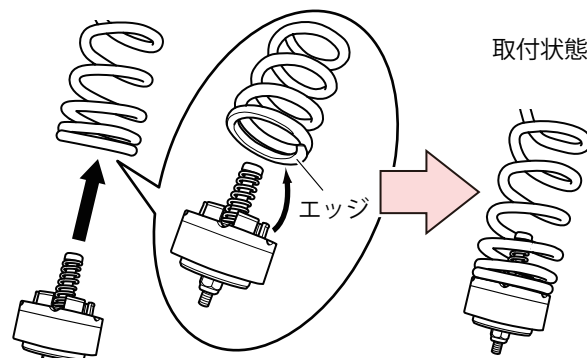


左右のFRフォークとも同様の作業をします。(作業例はヤマハSRX)

スプリングには上下の向きがある場合があります。分解時にご確認ください。

2 フォークスプリングにブリートを取付けます。

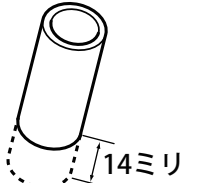
フォークスプリングの下側にブリートを手で押し込んで挿入します。



スプリング切り口のエッジ部分に先にあてがい、押しこみます。

3 カラーの加工

カラーをカットします。



ブリートの厚み分、プリロードが増加しますので、調整のためカラーを14mmカットします。

ご自身での加工が難しい際はご相談下さい。

4 フォークオイル量の調整 / FRフォークへの組付け

フォークオイル量はブリートの体積増加分、指定量より20cc少なくします。オイル量の調整後、スプリング取出時と逆手順でスプリング+ブリート、加工したカラー、キャップボルトを取付けます。これで取付完了です。各部の締付を再度ご確認ください。

フォークスプリング・イニシャルアジャスタ装備の車両でプリロードを強く設定したい場合、オイル量を多くして空気バネを使うよりも、フォークオイル量を標準か20cc程減量して、イニシャルアジャスタでスプリング本来の反発力を強くした方が良い結果が得られます。

縮み側減衰力 / イニシャル調整の手順

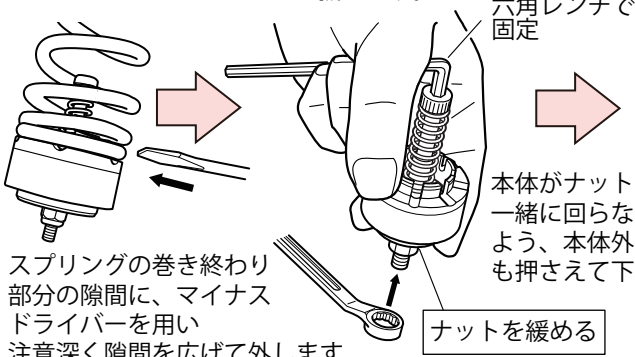
通常走行やワインディングなどは、出荷時のまままでのご使用をお奨めします。(出荷時は純正スプリングの使用、メーカー推奨粘度のフォークオイルの使用を想定しております。)

縮み側の減衰力の調整方法と設定の目安をご案内します。目安の値は純正スプリング、標準フォークオイルを使用した場合の参考値です。ご使用のフォークオイルの粘度によって特性も変わりますので、出荷時の設定で状態を確かめた後に、必要に応じて調整をしてください。

ブリートをスプリングから外します。

ブリート底部のナットを緩めます。

調整ネジを回して減衰力を調整します。



スプリングの巻き終わり部分の隙間に、マイナスドライバーを用い注意深く隙間を広げて外します。

六角レンチで固定

ナットを緩める

調整後、ナットを締めて固定

縮み側の減衰力を高めたい場合はネジを締めて調整します。

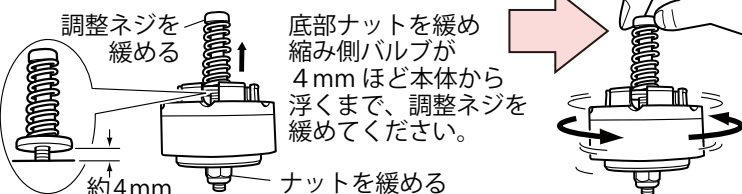
調整の目安は通常走行、体重 50~60 kg前後まではイニシャル"0"(出荷時状態) 体重 60 kg以上の方や、サーキット走行をする場合はネジを締めて調整しますが、その際は締める量の上限を必ず1回転 1/2 までにして下さい。

減衰力を高めた場合、フルボトム付近で急にサスが回くなる傾向があります。(出荷時の設定ではそのような現象はできません。)

イニシャル調整の目安

体重	調整ネジの締め回転数	
	普通	堅め
50kg前後	0	0
65kg前後	1/4	1/2
70kg前後	1/2	1
80kg前後	1	1 1/2

イニシャル"0"位置の確認方法



底部ナットを緩め縮み側バルブが4mmほど本体から浮くまで、調整ネジを緩めてください。

ナットを緩める

ネジの頭を持って、本体を垂直に持ちあげます。本体を左回りにコマのように勢いを付けて回し、縮み側バルブが本体に接触して、止まったところが、イニシャル"0"位置になります。

※1 本製品は伸び側の減衰力の調整はできません。社外品の強化スプリングご使用の際など特殊な場合に、伸び側減衰力の設定変更をご希望の際はご相談下さい。